# 施工上の要点・注意事項

Precautionary Statement

・山間部、あるいは夜露の早く降りる地域では、早めに塗装を終えて十分に乾燥時間を確保してください。(光沢低下、膨れ、割れ、はく離の原因になります。)
・水洗い後は、1日以上乾燥させてください。また素材表面が雨、露などで濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。(光沢低下、膨れ、割れ、はく離の原因となります。)
・下地調整が不十分だと塗膜はく離の原因となったり、光沢が出ないなどの仕上がり不良になる場合があります。塗り替えでは必ず素地に近づけ9.8MPa(＝100kgf/p))以上の高圧水洗が金属ワイヤーブラシなどによるケレン後、水洗いを実施し、付着物、劣化塗膜や基材の劣化物を十分に除去してください。
・使用量は、ぬれ感が出るまでを目安にしてください。素地への吸い込み個所がある場合は、その部分を増し塗りしてください。また、シーラー乾燥後ガムテープで基材のはがれがないかチェックし、はがれなどがある場合は再度シーラーを塗装してください。

**【下塗り(ニッペサーモアイシーラー)】**

・本品は規定の塗り重ね乾燥時間よりも早く上塗りを塗装しますと、縮み、割れ、乾燥不良を起こしますので、塗り重ね乾燥時間を守ってください。また、吸い込みの大きい下地や素材の場合は、塗り重ね乾燥時間は長めにとってください。短時間で上塗りを塗装しますと、溶剤による膨れや縮みなどが発生するおそれがありますので避けてください。
・高温下では硬化反応が著しく速まります。高温時の施工では、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。
・エポキシ樹脂系ですので、皮膚に付着するとかぶれを引き起こすおそれがあります。肌に付着しないよう特に注意してください。
・シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
・塗装場所の気温が10℃以下、湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
・上塗りに強溶剤系塗料のご使用は避けてください。

**【下塗り(ニッペサーモアイプライマー)】**

・さびは、ワイヤブラシサンドペーパーなどで入念に除去し、膨れ割れの発生にも注意し、十分なケレンを行なってください。
・塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
・はけなどの塗装用具の洗いは、ラッカーシンナーを使用してください。
・本品の上には2液形塗料を塗装できますが、塗り替え用のリフティング(縮み)防止には使用できません。
・塗装面以外に付着した場合は、乾燥するまでにラッカーシンナーまたは塗料用シンナーで洗い落としてください。

**【上塗り(ニッペ サーモアイ4F、Si、UV)】**

・十分な塗膜性能を確保するため、規定の使用量を塗装してください。
・ごみ・ほこり・砂・油・樹液などは、塗装前に水洗い、溶剤拭きなどで十分に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。
・低温、または高湿時に塗装し、未乾燥状態で夜露などにあたると、つや引けを起こすおそれがあります。
・積雪の荷重を最も受けやすい軒先の部分、瓦棒の凸部にこすり付けるように増し塗りを行ってください。
・秋期のような昼と夜の温度差が激しい時期には結露によるつや引け現象が起こりやすいため、午後3時以降の塗装は避けてください。
・遮熱性能は、色相によって異なります。詳細については、お問い合わせください。
・遮熱塗料専用下塗りを使用しないと遮熱性能が低下します。必ず専用の下塗りをご使用ください。
・遮熱塗料では、特殊な顔料を使用しているため、使用量が少ないと色相が変化して見えたり、十分に隠ぺいしないことがあります。十分な使用量が得られるように、標準塗装仕様を厳守してください。
・硬化剤はイソシアネートを含有しているため、蒸気、ミストなどを吸い込まないようにしてください。また、皮膚に付着しないよう十分に注意してください。

**【上塗り(ニッペ サーモアイ水性Si)】**

・被塗物以外に水性塗料が付着した場合は、ただちに水拭きしてください。
・過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量を守ってください。
・つや消し系の製品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんし、均一な状態でご使用ください。
・つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、塗り板見本を参考に試し塗りをしてください。
・つや調整品は、塗料液が分離しやすいので、よくかくはんしながらご使用ください。
・絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
・塗装後24時間以内など乾燥不充分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生する恐れがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
・色相によっては降雨、結露によって濡れ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
・乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
・スプレー/ズルの先端は、時々水洗いをしてください。作業能率の低下および塗りむらの原因になります。
・乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
・反応硬化タイプの塗料のため、使用後のはけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
・動物はけは、はけが固まったりダマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。

**【上塗り(サーモアイヤネガード)】**

・電動工具・ケレン棒等で旧塗膜を充分に除去し、孔食している個所を防水テープ・コーティング材で処理する。
・下塗りとヤネガードの塗装インターバルは7日以内です。やむを得ず超過した場合は目荒らし実施後塗装ください。
・塗装し難い箇所や塗料ののりが悪い箇所ではヤネガードで先行塗装してください。膜厚が薄いと防食性が劣ります。
・発錆面、ボルト部、瓦棒屋根さん部、板継ぎ目部等は下塗り塗料にて先行補修塗りを行なってください。
・ウェット膜厚計にて膜厚管理しながら塗装ください。
・ヤネガードはエアレス塗装では標準は1回塗りです。周囲の飛散には特に注意ください。塗膜強化のためフレーク状原料を含んでいますので、エアレス塗装の場合フィルター類は使用しないでください。
・上塗りは中毛ローラー、刷毛塗りで2回塗りが標準です。
・プライマーとヤネガードの塗装インターバルは7日以内です。
・素地調整時に高圧水洗によって洗浄してください。
・エアレス塗装は飛散防止措置を講じてください。
・塗膜強化の為のフレーク状物質を含んでいますので、エアレス塗装の場合フィルターをはずしてください。

**【仕様全般】**

・なみがたトタンの山の部分やトタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、膜が薄くなりがちです。先に拾い塗りするのが長持ちさせるこつです。
・塗り重ねは規定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。硬化が不十分な場合は、塗料用シンナーで再溶解するおそれがあります。
・塩ビゾル鋼板の上の塗装は、避けてください。
・溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
・所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやダレ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率を守ってください。
・硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
・水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
・塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合(高湿度、結露、降雨など)、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。
・旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
・改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認の上、塗装仕様をご検討ください。
・塗料液と硬化剤の混合割合は、必ず守ってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりや作業性が低下することがあります。
・屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
・塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行ない、火気厳禁にしてください。
・飛散防止のため必ず養生を行ってください。
・シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプリードオフプライマ-を下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
・塗料は内容物が均一になるように撹拌してください。薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
・はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
・ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。
・汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の塗装条件を同一にしてください。
・ローラー、ハケなどは、他の塗料での塗装に使用するとハジキなどが発生する恐れがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
・使用前に内容物が均等になるようにかくはんし、開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
・水切り部で屋根材の重なり部分に塗料が付着し詰まっていると、漏水の原因になります。皮スキ、ケレン棒、カッターなどを用いて溜まった塗料を除去する縁切りを行ってください。
・洋風コンクリート瓦(モニエル瓦など)、粘土瓦(いぶし瓦、釉薬瓦など)には使用しないでください。なお、洋風コンクリート瓦については、別途ご相談ください。
・硬化剤は湿気で硬化しますので密栓して貯蔵してください。
・経年劣化や下地の劣化が著しい場合は、シリコンベスト強化シーラー、またはファイン浸透シーラーをご使用ください。
・シリコンベスト強化シーラーをご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により旧塗膜を侵し、溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する事があります。試し塗りなどでご確認の上、本施工を行ってください。
・塗装後、翌日までに降雨の心配がある場合は、白化するおそれがありますのでご配慮ください。(塗装後3~5時間ぐらいは、絶対に雨に合わないようにしてください。特にアスファルトシングル材の場合は塗膜が厚くなりますので、乾燥が遅くなります。より十分な乾燥時間が必要です。)
・シーラー類、サフェーサーと上塗りの混合は避けてください。はけ、ローラーなどの共用も避けてください。
・下塗り乾燥後、ガムテープで基材のはく離がないかチェックし、はく離がある場合は、再度下塗りを塗付してください。
・防さび(さび)性はありません。むね、すみむねなど金属製役物が、さびている場合は、発さび部とその周囲を十分にケレンし、下塗りに、「ニッペ1液ハイポンファインデクロ」塗装後、上塗りを塗装してください。
・塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
・可塑剤が多く含まれる塩ビゾル鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようご注意ください。
・作業前に容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご参照ください。
・製品の安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

## 安全衛生上の注意事項(ニッペサーモアイ4F クールブラック塗料液)

・本来の用途以外に使用しないでください
・使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
・熱／火花／炎／高温のもののような着火源から遠ざけてください。ー 禁煙です。
・容器を密閉してください。
・容器および受器を接地してください。
・防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用してください。
・火花を発生しない工具を使用してください。
・粉じん／ガス／蒸気／スプレー等を吸入しないでください。
・屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。
・必要な時以外は、環境への放出を避けてください。
・取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
・適切な保護手袋／防毒マスクまたは防塵マスク／保護眼鏡／保護面／保護衣を着用してください。
・必要に応じて個人用保護具を使用してください。
・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
・飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。
・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。
その後も洗浄を続けてください。
・眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けてください。
・皮膚や髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ取り除いてください。皮膚を流水かシャワーで洗ってください。
・皮膚に付いた場合、多量の水と石鹸で洗ってください。
・取り扱った後、手を洗ってください。
・皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けてください。
・直ちに、すべての汚染された衣類を脱いでください／取り除いてください。再使用する場合には洗濯してください。
・粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
・暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
・緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。
・火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
・水を消火に使用しない。
・容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。
・施錠して子供の手の届かないところに保管してください。
・直射日光や水濡れは厳禁です。
・塗料等の缶の積み重ねは３段までとしてください。
・日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も５０℃以上の温度に暴露しないでください。
・内容物／容器を廃棄する時には、国／地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
・塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。
・容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

＊上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
■詳細な内容、表示例以外の商品については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。
■本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

## 危険

## 危険有害性情報

・引火性液体および蒸気
・皮膚刺激
・強い眼刺激
・発がんのおそれの疑い
・生殖能力または胎児への悪影響のおそれ
・呼吸刺激を起こすおそれ、または、眠気やめまいのおそれ
・長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害のおそれ
・水生生物に非常に強い毒性(急性)
・長期的影響により水生生物に非常に強い毒性


SINCE 1881

私たち日本ペイントは創業明治14年(1881年)以来、塗膜を通じて産業資産を
まもり続けています。
自動車、船、鉄道、橋梁、住宅などの建築物、そして家電製品から携帯電話に至るまで…。
日本ペイントは塗膜と色彩を通じていつも皆さまのすぐ近くにいます。

詳しい情報はホームページで
日本ペイント　建物　検索
http://www.nipponpaint.co.jp/biz1/building.html